

町民からの通報の充実を図れ



石内 國雄



町長

今の通報等の方法で対応は可能

質問 町民が生活の中で気づいた道路の破損や標識の不備等について、スマホで即座に町へ通報することができる時代になっている。現場の写真や場所の特定、日時が把握できるスマホでの通報（要望）システムの構築を図るべきと考えるが。

答弁 町長 議員提案の通報システムは、道路にできた穴や破損した標識等について、住民がスマートフォンで写真や報告文を添えて投稿できるもので、写真で詳細な情報を送れるため、正確な位置情報も通報できるメリットがある。

行政区域が広く、状況の把握が難しい自治体にとっては、大きなメリットがあるが、玉村町は面積もさほど大きくなく、既存の方法で通報があれば十分対応が可能と考えている。

質問 町民からの情報は対処するだけでなく、まちづくりや町の安全確保上有益なものと捉え、日頃から情報蓄積と評

価していくことが大事と考える。スマホでの情報システムは詳細な情報が手に入るため、行政に生かしたらどうか。

答弁 町長 情報は多いほうがいいと考えるが、得られた情報を活用していくには課題も多い。今後についてはよく研究していきたい。

藤岡大胡線の事業の推進を図れ

質問 県では、東毛広幹道（国道354号）の4車線化

後に藤岡大胡線の事業着手の順となるような話で、平成28年度には県の予算に調査費がついていた。今後の藤岡大胡線の整備の見込み等はどのようになっているか。

答弁 町長 事業主体は県であり、角洲から上飯島までのバイパス整備を早期事業化に向けて調査・検討を進めていると聞いている。具体的な着手年度は未定との回答であり、町として引き続き早期事業化に向け



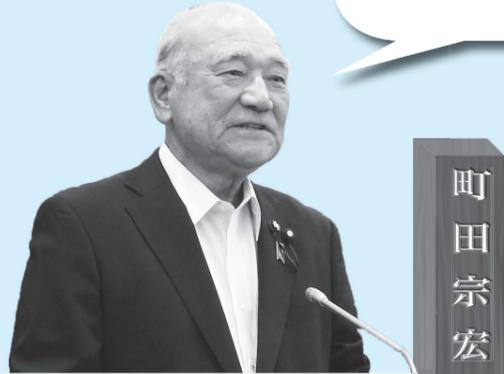
早期事業化が望まれる藤岡大胡線バイパス

て要望していきたい。

質問 県予算がつけば事業が開始できる状況か。

答弁 町長 都市建設課長 予算がつけば、4車線化を目指して事業化すると聞いている。

「教育の町・たまむら」を目指せ!!



町田 宗宏



町長

町民の意見を集約して決めたい

質問 町立の保育所をすべて「認定こども園」に移行されたい。

答弁 町長 町立の幼稚園・保育所を認定こども園化することは大変有益なことで認識している。現在、町長部局と教育委員会部局の職員で構成する「子ども・子育て支援プロジェクト会議」を発足させ、検討を開始した。

質問 全国学力テスト・全国体力テストの全国一を目指すとともに、道徳の向上のため、教育内容の充実を図りたい。

答弁 町長 学力・体力テストともに、その結果を分析し、学校ごとに学力・体力向上計画を作成し、組織的に取り組んでいる。

子どもたちが、学校に行きがいを持ち、居がいを感じ、やりがいを感じることで、心を育て、学力・体力の向上を図っていくことを基本とし、家庭や地域の皆さんと同じ方向を向いて、子

どもの教育を進めていきたい。

質問 県立女子大学を男女共学の大学とし、理工学部・農学部を増設するとともに、附属高校・中学・小学校・幼稚園を附置することを県に要望し、実現されたい。

答弁 副町長 先般、県立女子大学の幹部の方と話し合ってきた。簡単な問題ではないが、地道に努力していきたい。

質問 県や周辺市と調整し、国道354号に周辺市の高

等学校等への通学のためのシャトルバスの運行を実現されたい。

答弁 町長 町の公共交通全体の見直しを進める中で、研究していきたい。

質問 教育体制・教育内容等のさらなる充実を図り、「教育の町・たまむら」を目指せ!!

答弁 町長 町民の意見を集約して、町の未来像を決めたい。



拡充が期待される県立女子大学